

第1回 石川中央都市圏地域公共交通協議会

議事概要

【概要】

日時：令和5年7月4日（火） 14時30分～

場所：金沢歌劇座 大集会室

【次第】

1 開 会

2 議 事 等

(1) 北陸鉄道石川線・浅野川線のあり方検討 (資料1)

(2) 北陸鉄道株式会社からの報告 (資料2)

(3) 石川中央都市圏地域公共交通協議会 令和4年度収支決算報告 (資料3)

(4) 石川中央都市圏地域公共交通協議会 令和5年度収支予算追加補正案 (資料4)

3 閉 会

【会議の様子】



【議事記録】

1. 開会

挨拶（会長）

本日はお忙しい中、出席いただき感謝する。

新型コロナウイルスが5類に下がったことで、かなり日常生活が戻ってきたと感じている。しかしながら、第9波がくるかもしれないとの声も聞かれる。5類ということでインフルエンザ的な扱いになったとはいえ、流行に季節性が見られないところもある。

ところで、昨年度末に地域公共交通計画をとりまとめたところだが、鉄道線についてのあり方を検討するために、今回集まっていたいただいた。経営状況を含め、需要、利用状況についての報告がある。それらを踏まえて、今後のあり方について情報共有し、ご意見をいただきたい。

2. 議事等

(1) 北陸鉄道石川線・浅野川線のあり方検討

(2) 北陸鉄道株式会社からの報告

(A委員)

行政の立場から少しお話させていただく。新幹線が3月に全線開業となり、白山手取川ジオパークが認定され、世界に向けた観光客の増加が見込まれる。一方、石川線沿線には住宅地が多く、石川線の利用によって、ここまで地域が発展したと考えている。昨年度は各自治体議会もある中で、交通に関する計画もまとめていただいた。鉄道はバス以上の輸送機関であり、それを基本として市町の公共交通の計画を作成している実態がある。それらを踏まえ、今後も鉄道を存続するのか、あるいはBRTが良いのか等、輸送形態を考えてほしい。既存で走っている鉄道を維持するのは可能であるが、現状の制度で同様のものを新設するとなると厳しい部分がある。鉄道が走っているのは有難いことであるため、今後の利用促進についてしっかり考えていただきたい。また、マップ上で石川線を見ると、住宅地が多いにもかかわらず、バスや車が入っていない駅が多い。中には、新幹線開業と同時に新設された陽羽里駅など、村田製作所や中村留精密工業の利用を見込んだ良いロータリーを持った施設もある。その他、自転車への配慮など改善も含め考えてほしい。

(事務局)

白山手取川ジオパークの認定は世界からの注目を集めるものであり、石川中央都市圏としても重要である。そのような場所へのアクセスとして、環境に優しい公共交通は重要であると考えている。資料は生活者目線となっているが、観光も含めて重要視していきたい。新興住宅地の動向についても重要と考えている。昨年度まで利用が少なかった乗継割引の実験においては、陽羽里駅からの乗降が見られるようになってきたところである。沿線事業者の村田製作所様などにもアンケート調査などを実施し、利用促進に繋げるための検討を進めている。

(会長)

資料のP7に本日の議論の内容がまとめられている。利用を促進するための利便性向上策はたくさん考えられる。キャッシュレス化や待ち時間を短縮するためのダイヤ調整、安全性の問題もあるが石川線の運行頻度を上げるなど、中長期的な実現も見据え、どのような利用促進策が望ましいか利用者の立場でご意見をいただきたい。

(事務局)

説明を補足させていただく。例えば、のと里山海道から金沢に向かう際、特に朝のラッシュ時などに国道8号を利用すると渋滞してしまうため、駅周辺の安く利用できる駐車場に車をとめて、浅野川線を利用することも考えられる。車が便利であることは承知しているが、渋滞が避けられるなら他の交通手段を利用する、雨に濡れないのであれば公共交通を使っても良い等、意見があれば聞かせていただきたい。

(会長)

石川線も浅野川線も一体的に考えるべきであり、浅野川線の利用促進も重要である。金沢スタジアムも新しく整備されるため、浅野川線の利用促進に効果的であると考え。駐車場台数が不足する場合は、シャトルバスの運行も大事であるが、浅野川線を利用させていただくことも考えられる。

(B委員)

自宅が内灘駅から近いので、浅野川線は重要な交通手段だと思っている。町内は町バスがあり、浅野川鉄道との連携もよく考えられていて、新興住宅地とのアクセスも便利になっている。一方で宇野気線が廃止になり、バス路線沿線から金沢市内に行くための足が断たれてしまった。路線の廃止はいたしかたないが、アクセスが絶たれていくことが我々の生活の中でいかに不便で今後を考えた時に大変であるかを、改めて感じている。これだけしっかりした鉄道を維持していくことが重要な課題であると、内灘町女性協議会でもよく話題にあがる。石川線について詳しくないため浅野川線の感覚で申し上げるが、例えば、休日混んでいるまちなかで駐車場を探すより、電車を利用した方が早い。内灘駅周辺に使いやすい駐車スペースがあれば、そこから電車に乗り換えられるため便利である。天気の悪い日などは、駅周辺に車を停めて電車を利用するといった可能性もあるのではないか。

(事務局)

路線バスの話も含め、路線が少しずつ減少し、気付いたら沢山の路線が廃止されていたという状況の方がたくさんいらっしゃる。他都市では、バス停や鉄道駅周辺に、1台でも2台でも駐車場を整備するP&Rに地道に取り組んでいる事例もある。浅野川線沿線は立地的に厳しい面もあるが、だからといって諦めるのではなく、マイカーと公共交通をどのように組み合わせるのか、どのような施策を進めていけるか検討していきたい。

(C委員)

私自身、公共交通はほとんど使っていないが、鶴来在住の方から話を聞く機会があった。話によると、観光やイベントに対しての乗車割引券が発行されているが、日頃利用している学生に対しての補助や割引がないという不満があった。1ヶ月定期も3ヶ月定期も割引率が低いという不満が一番多い。日頃利用している方に対する補助や割引などを考えていただきたい。

(事務局)

通勤・通学で利用されている方々が一番鉄道線の恩恵を受けている皆さんだと感じている。定期代が高く生活が苦しいといったこともあるかと思っている。定期代は交通事業者の経営努力によるものであるが、本当にそれで良いかというご意見であると思うため、皆様が利用しなくなるような運賃を交通事業者と考えていきたい。

(D委員)

これからの高齢化社会において少子化が進み全体の人口が減少し、利用者が減ってくる可能性が大きいですが、今考えている提案では今後10年程度の解決策に過ぎないと思われる。収支決算や利便性のみならず、もっと利用者の声を聞き、先の将来を見据えるべきである。

首都圏と異なり、石川線の場合は開発による人口増加は難しいと思われる。その中で利用を増やすには、利用者にとって優しい施策を考える必要があるのではないかと。降雨・降雪時に雨や寒さに十分に耐えられる施設も必要であるし、駅周辺に高齢者や子どもたちのたまり場・コミュニティの場があれば、利用に結びつけられるのではないかと。鉄道とバスの連携だけでなく住民にとって何が重要かということを考え、より親しまれるような施策を進めていく必要がある。

(事務局)

極めて重要なお指摘をいただいた。10年後の足元ばかり見ては十分な策が打てないのではないかと。ご指摘について、鉄道駅やバス停を核にしながら、まちづくりを進めていこうという発想は各自治体もっている。金沢市の場合は、鉄道やバス沿線の利便性の高いエリアに居住を誘導し、都市の機能を守っていくことを考えている。先祖代々の土地を手放し、居住地を変えるというのは非常に抵抗があるが、20年、30年かけて少しずつ鉄道線沿線に都市機能を集約し、集まりたくなるまちづくりを進めていかなければならないと思っている。

駅の待合環境の指摘について、非常に簡易な小屋のような空間もあるが、他の都市に目を向けると、交通事業者だけでなく行政も一緒に取り組み、人が集まる空間にしているものも見られる。そのような事例も学びながら、交通事業者と行政それぞれが役割分担して管理をし、人が集う、暑さ寒さをしのげる快適な空間をしっかりと検討していく。

高齢者等が集まれる場も必要だと思っている。駅に公民館や図書館などの機能を持たせることで人が集まる空間になる。交通事業者に全部任せるとはせず、出来ることを考えていく。

(3) 石川中央都市圏地域公共交通協議会 令和4年度収支決算報告

(会長)

ただいまの説明にご意見はあるか。特にご意見が無いようであれば拍手をもって承認いただきたい。

一同拍手にて承認

(4) 石川中央都市圏地域公共交通協議会 令和5年度収支予算追加補正案

(会長)

ただいまの説明にご意見はあるか。特にご意見が無いようであれば拍手をもって承認いただきたい。

一同拍手にて承認

3. 閉会

—閉

会—